



バングラデシュ物流ウェビナー

一般社団法人ニッセンケン品質評価センター
郵船ロジスティクス株式会社

2023 年 6 月 7 日

Yusen Logistics (Bangladesh) Ltd



01

バングラデシュの紹介

02

郵船ロジスティクスの紹介

03

海上輸出入状況

04

航空輸出入状況

05

留意点/通関・配送 その他

留意点/通関・配送事情/
よくあるお問い合わせ

バン格拉デシュの紹介

本日のセミナー内ではバン格拉デシュ主要港を
チョットグラムとして案内致します。

※2018年にチッタゴンの正式名称はチョットグラムへ
変更されております。



- ❑ 国境は大半をインドと接しベンガル湾に面した人口1.7億人を要するモスリム国家
- ❑ 人口の9割はイスラム教、金曜日が安息日となる為、金土が一般的な週末
- ❑ 1971年3月26日 東パキスタンから独立、南アジア地域協力連合(SAARC) 8か国の中核国
- ❑ 2022年2月10日 - 日バ国交樹立50周年
- ❑ 面積 - 北海道・東北地方と同等 (14.8万km²)/人口密度が高く交通渋滞と騒音が慢性化
- ❑ 季節は6つ - 大まかには雨季(4月～10月)・乾季(11月～3月)
- ❑ 乾季は空気汚染がより深刻となり、建設ラッシュによる粉塵、違法車両による黒煙の排出、赤レンガ製造塔からの噴煙が3大要因となっております。
- ❑ 国内幹線道路、交通インフラ整備は発展しつつあり幹線道路は舗装され、停電についても近年は減少傾向ですが、時折発生し各建物には発電機が常備されております。

国内基礎情報		
首都	ダッカ	独立時4管区 -> 2015年以降8管区
言語	ベンガル語/英語	英語は非常に高いレベルで使用
人口	1億7130万人(世界8位)	労働者人口1億4,470万人
失業率	2023年 3.51%	2022年3.6%
内閣	アワミリーグ シェイクハシナPM	3期長期政権 (1期5年)/次期総選挙2023年12月-24年1月
1人あたりの名目GDP	2,687ドル/年	2022年IMF確定値 インドUSD 2,301
賃金	USD 105/月	製造業・作業員・ドル賃金
携帯普及率	97.4%	2022年統計局
スマートフォン保有率	52.2%	2022年統計局
識字率	74%	7歳以上
電気普及率	99.34%	
貧困率/極貧困率	18.7%/5.6% (2022年)	48.9%/34.3%(2000年) 31.5%/17.6%(2010年)
日系企業関連	進出企業338社 (2008年は70社)	
在バングラデシュ邦人数	1,080名	
商工会登録企業	129企業 (2008年24社)	一般会員126社、特別会員3社(JETRO/JICA/大使館)
JICA円借款	22億782万ドル	インドを抜きJICA最大供与国
2022年度GDP	6.94% (過去10年平均6.57%)	2023年度政府目標6.5%(2022年7月~23年6月)

日系関連国内マップ



2022年12月6日当地初BSEZが開業

Bangladesh Special Economic Zone Phase 1 開業



12月28日初の電気式鉄道MRT6号線が開業

MRT 6号線部分開業



2023年末 空港第3ターミナルが開業予定

Dhaka airport terminal 3



Copyright © 2017 Yusen Logistics. All rights reserved

マタバリ超々臨海圧石炭火力発電・深海港開発

Matabari power -coal plant



□ 2大産業

- 縫製産業(RMG : Ready Made Garment)
- 出稼ぎ労働者による郷里送金
中東、東南アジアへ毎年100万人以上が出国
21/22年度 - 海外からの送金額は210億ドル

□ 輸出製品 (22年度 - 520億ドル)

- 約84%はアパレルリテイル輸出に依存
- 布帛42.36%、ニット製品41.70%
- 革製品・ジュート製品 各3%を加えると90%

□ 主要輸出パートナー(金額ベース)

- 独/米/英/西/波/仏/伊/蘭/日/加
- トップ10か国で全体の70%以上、欧州向け65%

□ 輸入 (22年度 - 824億ドル)

- 機械製品/綿花12-13%
- 鉱物石油製品、原子炉、機械、鉄鋼品、自動車

□ 主要輸入パートナー(金額ベース)

- 中/印/星/米/日
- トップ3か国で85%(中国6割強、印・星10%)
- 日本からの製品：鉄鋼、原子炉関連、船舶、車両、亜鉛、人造繊維、プラスチックやゴム製品

○ ポイント：輸入超過国

外国援助、国内銀行借り入れ等で補填

参考) 輸出品構成割合 (金額ベース) 100.00%

Ready-made Garments (Woven)	42.36%
Ready-made Garments (Knit)	41.70%
Leather & Leather Goods	2.98%
Jute & Jute goods	2.82%
Textiles & Home Textile	2.72%
Agricultural Products	1.85%
Frozen Foods	1.40%
Engineering Products	0.98%
Footwear [Excluding Leather]	0.67%
Chemical Products	0.41%
Plastic Products	0.27%
Others	1.84%

参考) 輸入品構成割合 (金額ベース) 100.00%

Machinery including computers	12.70%
Cotton	12.40%
Mineral fuels including oil	8.70%
Electrical machinery, equipment	7.30%
Iron, steel	5.20%
Vehicles	3.90%
Manmade staple fibers	3.60%
Plastics, plastic articles	3.60%
Animal/vegetable fats, oils, waxes	3.60%
Cereals	2.80%
Others	36.20%

郵便ロジスティクスの紹介



日本郵船株式会社

Nippon Yusen Kabushiki Kaisha (NYK)

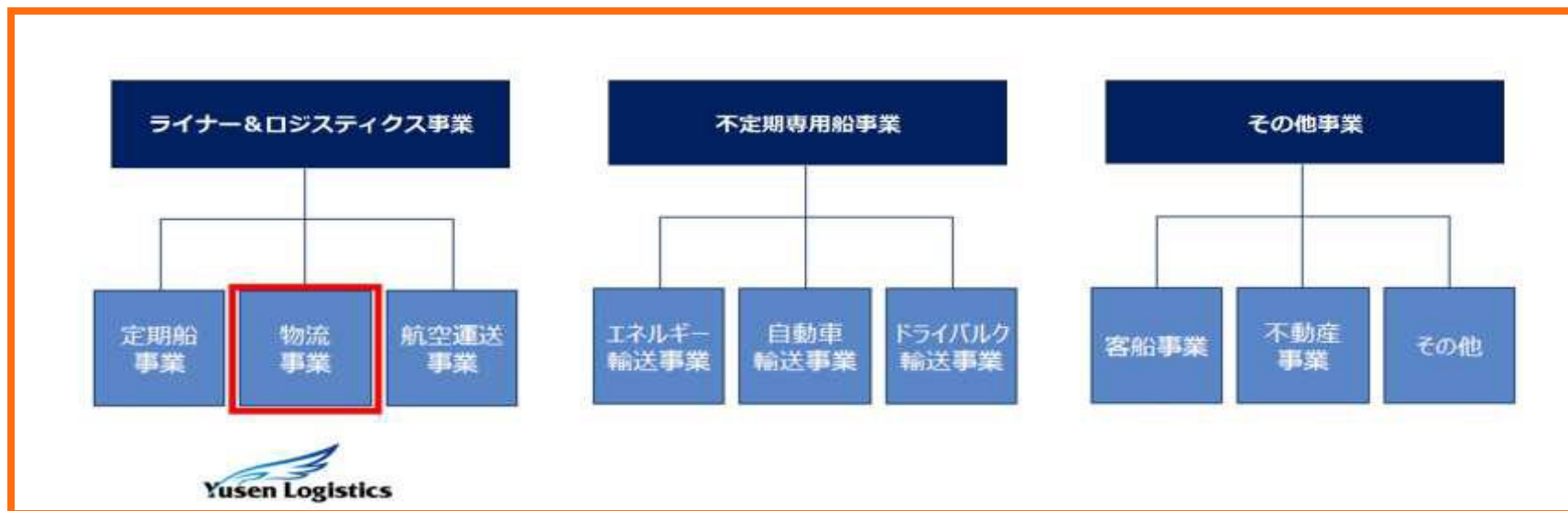
- 設立年月日：1885年（明治18年）
- 資本金：1,443億円
- 売上高：2兆2,807億円（2022年度3月期通期決算連結）
- 代表者：長澤仁志
- 従業員：35,165人（2022年3月31日現在・連結）
- 事業体制：35,165人（2022年3月31日現在・連結）



郵船ロジスティクス株式会社

Yusen Logistics Co., Ltd

- 1955年（昭和30年）
- 43億100万円
- 8,200億円
- 神山亨
- 24,967人
- 47か国631拠点350都市





郵船バングラデシュ情報

設立：2012年7月
 形態：現地法人 外資100%
 本社：ダッカグルシャン2サークル
 社員：50名 ✓ダッカ35名
 ✓チョットグラム15名
 拠点4 ✓ダッカ
 ✓チョットグラム
 ✓チョットグラムCFS内
 2事務所



サービス内容

1. 航空・海上 国際輸送
2. トラック/コンテナ輸送
3. 通関
4. ODA等プロジェクト関連貨物 取り扱い
5. 倉庫業
6. クロスボーダーサービス

海上輸出入状況

【チョットグラム港(旧：チッタゴン港)データ】

- ・年間取扱：321万TEU (2021年) 国内の93%
- ・世界港湾取扱ランキング64位 (2014年87位)

【輸出貨物の特徴】

工場バンニングは少なくCFSへ製品を輸送後コンテナバンニングが行われ各国へ輸送されております。

【輸入取り扱いの特徴】

- ・FCLの多くは港で輸入通関後にコンテナから荷物を取り出され国内配送が行われております。
- ・特定38品目は周辺CFSへ保税転送されております。
- ・コンテナによる直配送 - 税関への事前承認により可能となりますが、首都圏への輸送片道270キロと大都市へは日中配送制限がある為、トラックでの輸送がメインとなっております。

○港湾拡張工事について

- ・Patenga Terminalは22年7月にトライアル開業
- ・ターミナルオペレーターが決定となり次第本格開業、年間45万TEUコンテナの取り扱いが可能。
- ・Bay Terminal は工期遅延となり開業は未定。

【Port界限】



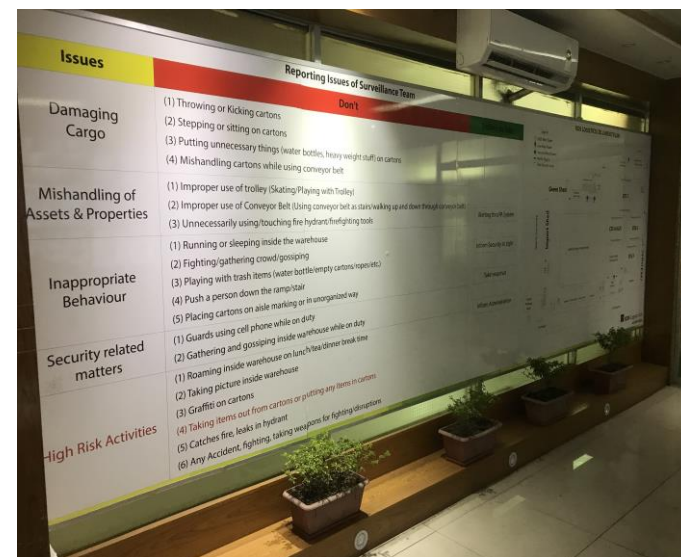
- ・ 空港～市内へは湾岸Coast Lineが開通しアクセスが向上

○バングラデシュ国内配送中の盗難事故について

- 輸出貨物の多くは港周辺のCFSでコンテナに仕立てられる為、製品はトラックで輸送となります。縫製工場が集中しているダッカ近郊から港までは片道250キロを要し、輸送中の事故として過去10年間に2,200件もの輸送上盗難が発生しております。
- 2022年はバングラ全体として30件程度、国内工場～CFSへ輸送途中に紛失事故が発生、弊社CFSでは荷受け事故防止策を施しており、窃盗団の検挙やサービス品質向上へ取り組んでおります。

※工場、運送会社、窃盗集団による業務妨害がゼロでは無い国である事をご理解頂きたく存じます。

- CFS側へ運ばれた貨物が弊社引き取り後に抜き取りされる可能性について
弊社では複数のCFSと契約を行い日系顧客向け対応はCFS内に弊社事務所、常駐スタッフを設け、現場監視体制を強化している事に加え、CCTVルームで日本以上に厳しい監視をしており盗みは極めて難しい環境となっております。



CFS



参考) CFS : 保税蔵置場

税関職員も各CFSに勤務しており、金曜日は当地週末となりますが縫製産業は基幹産業となる為、金曜日も輸出通関や積み込みが行われております。

【弊社CFS業務について】

- ・ 弊社では右①の通りCFS内に事務所を設け品質管理、お客様へも現場へ訪問頂きオペレーションをご確認頂いております。
- ・ 日本人も頻繁に現場入りしお客様毎にSOPを作成、現場と共にバングラ物流をリードする品質改善に取り組んでおります。
- ・ 協力頂けるCFSマネジメントを選考しております。

【事故対策の一例】

- ・ 第3者機関による使用コンテナの品質チェック
- ・ 荷受け時にランダムチェック実施②の通り二重テープやトラック毎に20-40箱の重量、到着時状況確認を行い報告書を作成
- ・ 保管時は③の通り鳥の糞害対策 ④パレット上での保管
- ・ ⑤外来種対策と積み込み時画像撮影
- ・ ⑥有料：荷崩れ防止ラッシングやトラックの重量検査も実施



NEW

Yusen Logistics

バングラデシュ発 日本向け ダイレクト 輸入LCL混載サービス

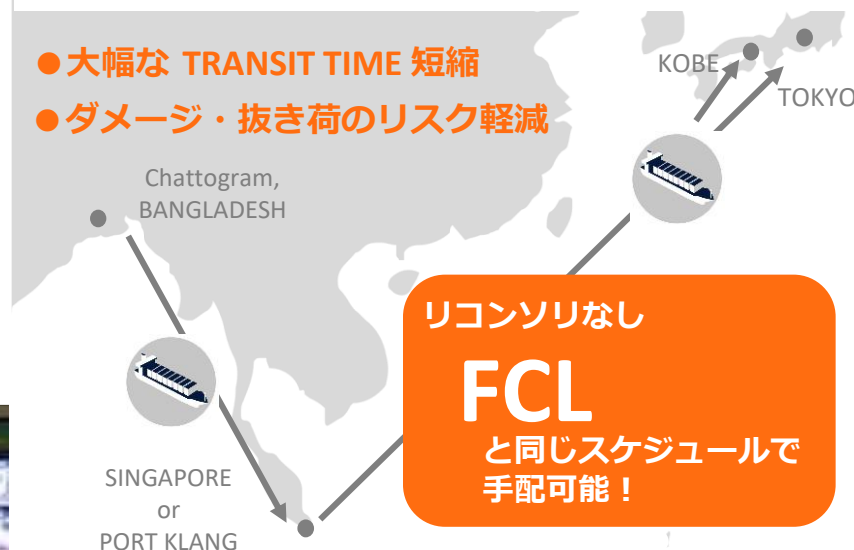
万全のセキュリティで 安心の積地CFS

- 90台以上のCCTVカメラで24時間監視
- 郵船ロジ専用スペースでの貨物管理
- 郵船ロジ事務所も併設。専任スタッフ常駐。
- 屋根付き作業場でウェット対策も万全

※バングラデシュ発日本向けは直行便が無い為
バングラデシュ-Singapore/Port Kelang間はフィーダー輸送となります。
当該資料のダイレクトサービスとはSingapore/Port Kelangにて
リコンソリせずに日本に貨物が到着することをダイレクトサービスと定義しています。

T/S PORTで リコンソリなし

- 大幅な TRANSIT TIME 短縮
- ダメージ・抜き荷のリスク軽減



スケジュール (出港4日前カット)

POD	DOC CUT	CFS CUT	ETD	ETA
東京	水	木	日	土
神戸	水	木	日	金

お問い合わせ先

<日本>

お問い合わせは弊社営業担当へご連絡ください。
ご不明な場合は、以下までお問い合わせください。
郵船ロジスティクス 海上貨物部オペレーション支援課

TEL: (81)-3-5796-2241

PIC: 渋谷 motohiko.shibuya@jp.yusen-logistics.com
武田 mie.takeda@jp.yusen-logistics.com
塩野 ai.shiono@jp.yusen-logistics.com

<バングラデシュ>

Yusen Logistics (Bangladesh) Ltd.

TEL: (880)-2-2222-93690 PIC: Mazharul Anwar

mazharul.anwar@bd.yusen-logistics.com
yoshimitsu.otomo@bd.yusen-logistics.com

航空輸出入状況

ダッカ空港貨物地区



○貨物地区管理について - 長時間の野晒し、管理能力不足、ハンドフォークによる管理、ダメージリスクが極めて高い空港として世界的に有名な空港となり物流業者による品質改善の余地は難しい状況です。

- ・ 重量・長尺貨物はフォークリフトで対応、貨物はパレット上に漸く保管がされるレベルと認識下さい。
- ・ このような状況の為、各社様は生地など反物輸入であれば二重に梱包、機械製品などは旅客便に収まるパレットサイズに纏め工夫し手配をされております。

○待たれる新貨物地区の開業と日本式技術導入

- ・ 空港第3ターミナル同様、貨物地区輸出棟、輸入棟を建設しております。
- ・ 実際の開業は2024年後半となりますが、日本式技術を取り入れた貨物地区オペレーションが開始予定、双日・JAL・JALUXによる上屋運営、技術支援が入り始めており貨物取扱量は約3倍へ拡大されます。

【輸入】

- 空港はビーマンバングラディシュ(BG)が輸出入貨物取り扱いを独占、この独占が発展の阻害要因の一つとなっております
- 空港貨物地区通関審査制度、税関担当官により属人的に手配が行われ改善には非常に時間を要する状況が継続しております
- オリジナル書類引き取り：到着翌日が一般的となっております。
- 貨物搬出時：税関による内容品の数量・税番確認の為、開梱作業が搬出時に行われます。雑な扱いで外装が割かれ、また成分検査等による中抜きなども行われております。

空港輸出貨物受け入れ



空港輸出貨物保管状況



【輸出】

- 日本向けは直行便運航は2023年6月時点では行われておりません。
- 貨物専用機: CX/HX、旅客便: TG/SQ/MH/CX/ULがメインキャリアー。
- ダッカ貨物地区エリアは2021年以降、下記受け入れ制限が継続、BAFFA (Bangladesh Air Freight Forwarding Association)による貨物受け入れ制限が実施されております。
 1. 航空会社からの予約確認無しに貨物地区への入場は認められない
 2. 貨物地区前駐車スペース入場は確定フライトETD48時間前に入場が可能
 3. 貨物地区共通スペースへの入場、貨物荷下ろしはETD30時間以内に可能

※ 空港X線装置は小口貨物通過用となる為、物流業者側でのULD搬入は不可。
BG側でULDをアレンジしている為、物流業者が介入出来ない状況が長年継続

- 留意点
- 通関・配送状況
- よくある問い合わせ

1. 通関手配に時間を要し追加費用の発生が起こり易い国となります。船積み書類は出荷前に通関業者へ確実に共有、出荷了承後に実輸送手配をお薦めしております。
2. 他国で使用されているアイテム税番(HS code) と税関との解釈相違により、税番変更となる事例が他国以上に御座います。
対策としてアイテムリストやカタログを送付頂けますとよりスムーズとなります。
3. L/C決済以外の貨物はInvoice価格が税関により変更となる場合が御座います。過少申告で記載を行う例が非常に多く、税関が保持している価格幅や蓄積情報から職員による金額の変更に加え変更額に応じた関税額やペナルティー額が決定となる通関システムが採用されております。
4. IGM(Import General Manifest) データミス - **データ変更は2週間～1か月近く時間を要します。**
HBL、I/V価格誤入力、住所、通貨、品名、発地側の入力ミスが発生しますとデータ訂正に非常に時間を要します。データ訂正は発地からの変更が必須となります。
5. 関税は5段階(0%/1%/5%/10%/25%)となりますがその他税が発生致しますので、全ての税率を事前にご確認下さい。
参考：
調整税RD 3-35%
補足税SD 10-500%
VAT15%
前払い所得税AIT 2 or 5%
前払い税AT 5%
※税番によりRD/SDが発生しないものも御座います。

○通関リードタイム(目安 ※前提：書類不備無しの場合)

海上	航空
アパレル原料、反復輸入アイテム：2－3営業日	アパレル原料、反復輸入アイテム：1－2営業日
機械、化学品等：4－5営業日	機械、化学品等：2－4営業日
※関税支払いは都度オンラインでの支払いとなります (Real Time Gross Settlement)。	

※フリータイム

海上：着岸日含め4日間、**追加港湾費用を防ぐ為、長いフリータイムを保持した輸送を推奨致します。**

航空：到着日を含め3日

○通関事情

- ・ オンラインシステムAsycuda World (2013年に導入)
- ・ 閉庁：金土
- ・ 有償：銀行決済が前提(L/C T/T)
- ・ (輸入)原産地証明書提出が必須 (製造国を確認)
- ・ (輸入)通関は100%の全件検査 (全貨物では無く一部もしくは全量で検査を実施)
- ・ システム申告後、100%書類提出が求められ審査プロセスに2－3名の税関職員が関与、一度訂正が発生すると再度同じ税関職員による審査がゼロから行われ、職員の机には30件前後の書類が山積みとなっている為、非常に時間を要する作業となっております。

【日本との相違】

- ・ 予備審査制度は無し/税番事前教示制度無し/関税延納制度無し
- ・ 保税転送の概念は無し
- ・ 非居住者在庫制度(VMI: Vendor Management Inventory) 無し

【全般】

- クロスボーダー：インド側とのみ可能
※三国間貿易陸送手配時には事前にベナポール・ペトラポール税関と両国通関業者へ商流、
原産地証明書を使用し免税が適用となるか要確認。

【輸入】

- FOC(Free of Charge/無償) 輸送：通関は可能、都度輸出入庁長官(CCI&E)からの承認が必要となり、通関時は33%～83%のペナルティーが関税に替わる費用として発生致します。
以前FOCは頻繁に行われておりましたが、無償で糸、生地を輸入し完成品製造後に国内外への販売が横行。LC開設、開設金を支払った正規流通が脅かされる事態となり規制強化が開始、ペナルティーとして現行は罰則が設けられております。
- L/C開設以外の手配について、
T/T決済において事前清算は可能
- 原則中古品は輸入禁止。機械の輸入には船積み前にLife Span Certificate という10年以上今耐用可能である事が記載された認定機関発行証明書が求められております。
- 通関時必要書類一式 (ご参考)
I/V, P/L, BL, COO, LC/LCA, P/I(Proforma), プロジェクト関連はIP(Import permission), IP取得
出荷はP/Iは不要, Insurance policy/cover note, VAT/BIN(Business Identification Number)cert

【輸出】

- 輸出バンニング場所：基本はチョットグラム界限CFSで行われますが国内にあるEPZ(Export Processing Zone)においてや税関へ事前承認を取る事で一般工場においてもバンニングは可能で御座います。一方、ダッカや地方から港までの距離が非常に遠い為、あまり行われていないのが実情となっております。
- 原産地証明書の作成発行代行について：弊社側での手配は不可、またオリジナル書類のクーリエ手配は行っておりません。貨物への原産地証明書(Certificate of Origin/COO)貼り付けも受け付けてはおりません事、ご了承願います。
- 船積み書類サレンダーBL手配について：要件を満たした場合のみ手配は可能
EPZ内のAカテゴリー企業である場合、あるいはL/C決済が完了となりNOC(Non-Objection Cert)を発行された場合。
※NOCとは代金決算が終了となり貨物リリースに対して異議なしと言う裏書を加えた銀行証書
- 建値FOB：バングラ国内でのFOBは正しくはFCA(Free Carrier/運送人渡し条件)として扱われます
一般的なFOB(甲板渡し価格)であれば：チョットグラム界限CFSで荷下ろし後、輸出通関・国内配送費用までは輸出者、その後CFS関連費用やコンテナ積み込み費用も輸出者負担となります。
一方、バングラ法令ではCFSで発生した費用、コンテナバンニング費用、港湾関連費用は海上運賃負担者が支払うと法令に記載されており、特殊な条件で貿易取引が行われております。

ありがとうございました
お問い合わせ：
郵船ロジバン格拉ディシュ駐在：大友

yoshimitsu.otomo@bd.yusen-logistics.com